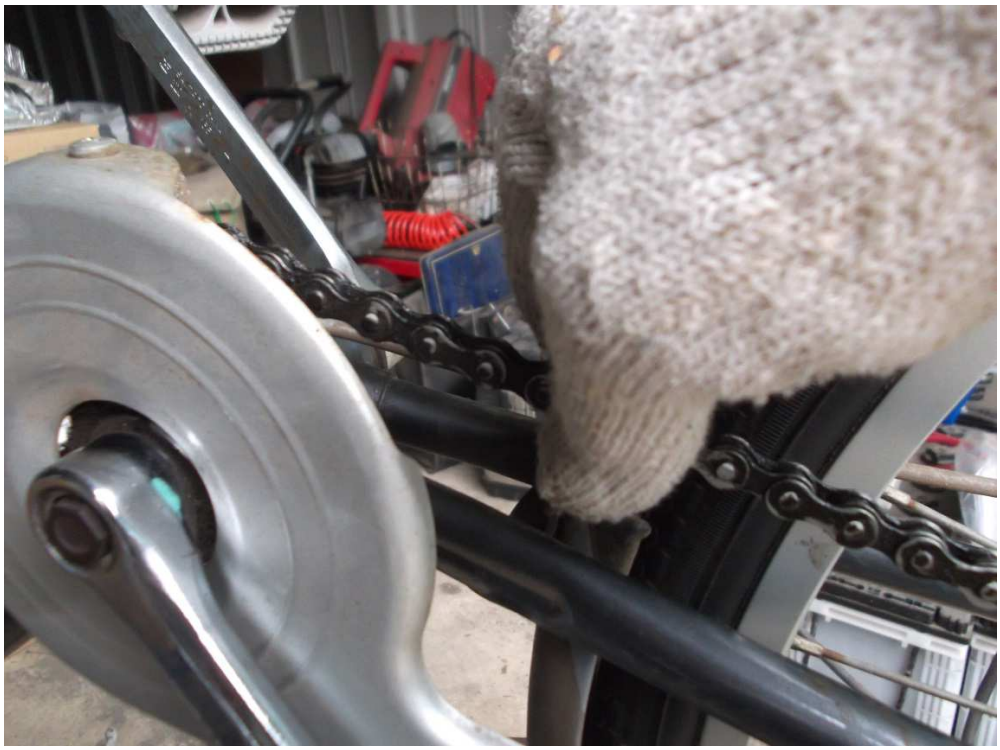
バンドブレーキ付き後輪の外し方

使用する工具　左からドライバー、プライヤー、自在レンチ、スパナ（10mm、8mm）

作業は倒立で行う。ベル等は反転させるか外しておくと良い。

まず、スタンドや泥除けステーを外すため、センターロックナットを両側とも外す。

再組時の位置決めのため、バンドブレーキと反対側のチェーン張りのナットはそのままにする。



次にチェーンを外す。チェーンをずらしてクランクを回せば、チェーンは外れる。

バンドブレーキは、①のボルトと②のナットを外し、ブレーキワイヤーをフリーにし、ブレーキをずらして、フレームから外す。

ブレーキワイヤーのロックナットは 10mm のレンチで外す。

ワイヤーとブレーキワイヤーブラケットを外す。

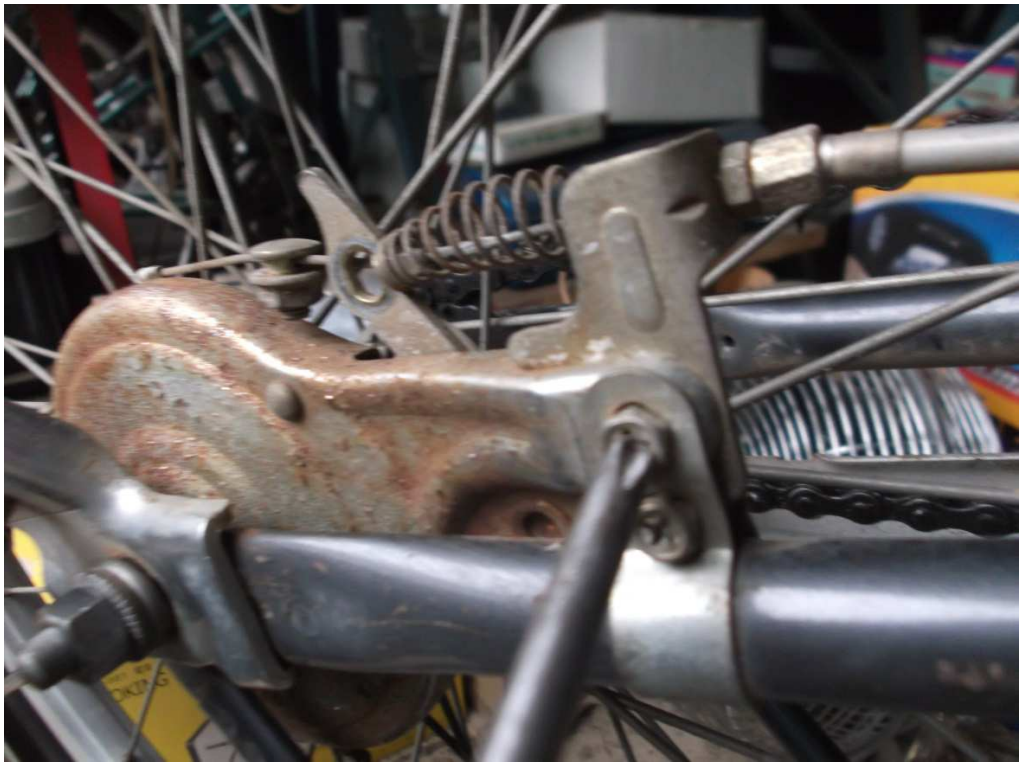
シャフトを持ち、後方にずらして、後輪を外す。

<u>後輪の外しは完了</u>

タイヤやチューブの交換を行うことが出来る。

再組み

元に組付ける際、ブレーキ本体の位置に注意。この位置でないと組付かない。



ブラケットを取付けてから、ブレーキワイヤーを取付け、必要ならば張りの調整もする。

スタンドや泥除けを取付け、しっかりとロックナットを締めつけて、作業完了。